

令和3年度学校関係者評価結果表

評価項目	評点	具体的内容	意見等
1. 教育理念・目的 ・育成人材像等	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育理念・目的・育成人材像は明確になっているか</li> <li>・各学科の教育目標・育成人材は業界ニーズに向けて方向づけされているか</li> </ul>	
2. 学校運営	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織や意思決定機能は組織的で明確になっているか</li> <li>・教育活動に関する情報公開が適切に行われているか</li> </ul>	<p>(藤井) 学校の魅力づくりは、色々やってきたと思います。しかし、思ったほどの効果が出てないように思われます。もっと根本的なところの検討が必要になってきているのかと思います。4年生が良いのか。魅力ある学部の創設か。大きく舵を切る時なのかもしれません。</p> <p>(久野) 卒業生アンケート結果で、ほぼどの項目において総じて「やや不満」「不満」の割合に減少傾向が見られることは評価できる。</p> <p>学生による授業評価アンケートの実施も定着が図られ、一定の授業改善に役立っているものと考えられ、継続して実施することが大切である。また、作成される「レーダーチャート」及び教員に対しての「学生コメント」の本人への開示は必須であり、「授業づくり」への効果は絶大であると同時に個人個人の反省材料、改善の具体的な指摘であり極めて有益である。</p> <p>「教頭、教務部長による授業見学結果」における数値を見ると、ほとんどが「3」、「4」が多く、どちらかといえば平均的評価になりすぎている感がある。個人個人の教員に対して「ほめて伸ばす」観点から評点「5」があっても良いし、逆に強く改善を求める意味合いから「2」の指摘と改善を求める指摘がコメントとして記載されればよいと思われる。今回一部評点「2」があっても「気づいたこと」欄へ具体的な指摘事項が未記入などところも散見された。</p>
3. 教育活動	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針が策定されているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確になっているか</li> <li>・資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業が行うことが出来るよう要件を備えた教員を確保しているか</li> </ul>	<p>(栗尾) 日商簿記等の資格取得に向けた対策も成果を上げられているようで、何よりです。企業の採用活動でも資格取得状況を重視している会社は多いので、今後も注力いただければと思います。</p> <p>(知野) 先生方が、自信をもって指導して欲しい。生徒が充実した1日を過したと考える時間と空間を構築してください。</p> <p>(久野) 「CA 企業講話」「インターンシップ」「企業説明会」等をはじめとして商工会議所が附属専門学校へのバックアップ機能の表れであり、好ましい</p>
4. 学修成果	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率向上の指導計画が適切になされているか</li> </ul>	<p>(久野) 就職内定状況をみると「会員企業」「その他の企業」でそれぞれの数値が表れているが、札幌商工会議所が擁する圧倒的多数の「会員企業」からの求人募集や内定数が示されれば、本人、保護者、出身高校に対して与えるインパクトは計り知れないものがある。設置者である商工会議所自体のさらなる支援体制があればと願うところである。</p>
5. 学生支援	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</li> </ul>	<p>(久野) 商業系列の学科にとって資格取得への取り組みは極めて重要である。さらなる上位を求めて研究生として残り、取得への努力なり姿勢を見せることは在校生への意識づけの観点からも効果が期待される。</p>

6. 教育環境	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>	
7. 学生の受入募集	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果が正確に果たされているか</li> </ul>	<p>(鈴木) インスタ、ツイッターの活用をしていますが、若者がもっと関心を持つような手法を取り入れ、広く拡散することを検討したらどうでしょうか。</p> <p>(池田) 北海道観光学科の入学生がさらに減少している。コロナ禍の逆風もあるが、ようやく明るさ(ウィズコロナ化)が見え、将来(ポストコロナ化)の出口戦略に向かう中、基幹産業である観光を担う人材育成、確保が求められている。あらためて将来にわたる観光業の位置づけ、そしてその業界を支える人材育成機関としてのCAのポジションを高校や生徒に伝える取り組みが求められる。</p> <p>(落合) 厳しい環境下でありながら就職率もほとんど100%は大変なご苦労があると思います。しかし、社会環境が大きく変わる中、時代に適応し、学科ごとの募集人員は柔軟に対応していければと考えます。</p> <p>(久野) 広報活動において、全国、全道の商工会議所との連携による様々な取り組み内容の具体的な実例が記述されると極めて効果的と思われる。「商工会議所付属」であることの優位性(他の多くの学校法人の各種・専門学校との差別化)が望まれる。募集要項、学校案内等におけるOB,OGの活躍紹介記事は学習成果の発表でもあり、高校生、現役学生、保護者、高校教員に向けてCAで学ぶことによる具体的な将来像の提示でもあることから極めて有益な情報であり、幅広く取り上げる必要があるとともに多くの紹介事例を掲載することが必要である。</p>
8. 財務	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・財務について会計監査が適正におこなわれているか</li> </ul>	
9. 法令順守(コンプライアンス)	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> </ul>	
10. 情報提供・助言等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめとして上記以外での意見等</li> </ul>	<p>(久野) 「社会人講座」の実施などは学校の存在意義や地域への貢献などの役割を果たしており、有益な取り組みであるが、直接的な生徒募集とリンクしているとは言い難い</p>